

2021年度 理事・幹部職員定期学習会を開催中

社会的諸問題とその背景について学びを深める場として2014年に開始した学習会も、昨年はコロナ禍で休止としましたが、この秋よりオンラインを主体に再開しました。参加者各々の力量を上げることを目的に、月一回定期的に関催。講師のお話しを聞いた後、グループワークをして内容を深めています。

| | | 演題・講師 |
|-----|-----|---|
| 第1回 | 9月 | ■演題：パンデミック・SDGs・民主主義—世界と日本の進路をめぐる諸論点 ①、② 講師：高崎経済大学経済学部教授 矢野 修一 氏 |
| 第2回 | 10月 | |
| 第3回 | 11月 | ■演題：憲法、立憲主義を考える～コロナの問題等にも触れながら 講師：弁護士 伊藤 真 氏 (日弁連憲法問題対策本部副本部長) ※参加対象を組合員・役職員まで拡大して開催しました。 |
| 第4回 | 12月 | ■演題：世界と日本の人権問題について 講師：東京大学大学院准教授 キハラハント愛 氏 |

2021年度 理事長専務会議を開催 <10月22日オンライン、11団体18名参加>

- 演題：国際的な生協の到達点と、地域社会や国際社会を踏まえた今後を考える
- 講師：公益財団法人 生協総合研究所 研究員 研究員・編集長 鈴木 岳 氏

「ロバート・オウエン協会」の役員でもある鈴木氏を講師にお迎えしました。日本の現状を再確認し、国際的な協同組合運動の史的潮流等、各国の生協の最近の特徴的な動向や日本の立ち位置について等お聞きしました。

くらし部会の活動

<生活クラブ、よつ葉生協、とちぎコープ、パルシステム茨城 栃木の4生協で、環境や食育等のくらしの問題についてともに活動しています>

生協の2030環境・サステナビリティ政策 学習会 <9月6日>

日本生協連は、持続可能な社会の実現に向けて全国の“生協の事業と活動で推進する環境政策”を策定しました。政策の一翼を担う役職員を対象として学習会を開催しました。■講師：日本生協連 組織推進本部 社会・地域活動推進部 小林真一郎 氏



ECO テック&ライフとちぎ2021に出展<10月30日>

参加生協がそれぞれの環境の取り組みを展示し、その内容からクイズを1問ずつ作成して「エコクイズ」を行いました。お子さん連れのご家族も多く、笑顔でクイズに取り組みました。 ---くらし部会の展示テーマ 「未来のために、今できること」 ---



| 各生協の展示テーマ | |
|-------------|----------------------------------|
| 生活クラブ生協 | リユースのびん、ピッキング袋、牛乳キャップの回収について |
| よつ葉生協 | 有機農業をメインに据え、環境や生物多様性を伝える |
| とちぎコープ | とちぎコープのプラスチックリサイクルの取組みとデリ電気の紹介 |
| パルシステム茨城 栃木 | パルシステムのリユース・リサイクルの流れとパルシステム電気の紹介 |

おしらせ

食の安全に関するリスクコミュニケーション in 県庁

日時：1月31日(月) 13時30分～15時30分(開場13時)
会場：栃木県庁 研修館講堂
内容：①基調講演：安全な食品ってなんだろう
-リスクのものさしで考える-
講師：国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部 部長 畠山智香子 氏
②栃木県の取組報告、パネルディスカッション
※詳細・お申し込みは、栃木県ホームページをご覧ください。
— 主催：栃木県・とちぎ食の安全ネットワーク 共催：宇都宮市 —



8月大雨災害

緊急支援募金を実施しました

会員生協で取り組んだ募金額は
合計6,837,853円となり
被災地の皆様にお届けしました。



〒321-0968 宇都宮市中今泉2丁目7-19 204号

TEL028-680-5592 fax028-680-5593

http://tochigikenren-coop.com Eメール info@tochigikenren-coop.com

VOL.35 冬号

ごあいさつ 栃木県生活協同組合連合会 会長理事 竹内 明子

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、誰もがそれぞれの立場で忍耐を強いられる年であったように思います。本当にこの感染症の一日も早い終息を願うばかりです。

しかし恐ろしいことに、我々は新たなウイルスの脅威にもさらされています。温暖化による地表の変化や森林伐採によって、今まで地中などに眠っていたウイルスが世界を席巻する可能性があるという学説があるのです。そうした想定される脅威に対して、後手に回らないような社会の仕組みを備えることが必要ではないでしょうか。何より、温暖化や自然破壊を食い止める取り組みを強化することが求められています。

このような課題に対し協同組合は取り組みを強化し、次の世代に未来を手渡して行かねばならないと思っています。また他の様々な問題に対しても、努力を続けてまいります。栃木県生活協同組合連合会に、今年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとって佳き年となりますようお願いしております。

栃木県生活協同組合連合会 会員生協紹介

| | 名称 | 事業内容 |
|------|-------------------------|---|
| 会員 | 栃木県職員生活協同組合 | 食堂事業、売店(食品・雑貨・書籍・印紙・切手など)、喫茶、理容、クリーニング、トラベル、ハウジング、自販機、保険、など |
| | 宇都宮市職員生活協同組合 | 食料品生活物資、保険、乾旋品の販売など |
| | とちぎコープ生活協同組合 | 食品、雑貨、夕食宅配、衣料、カタログ、本・DVD、共済、保険、チケット、ハウジング、トラベル、葬儀、ガス、灯油、電気小売事業など (購買配送事業及び店舗事業) |
| | よつ葉生活協同組合 | 食品、雑貨、衣料、カタログ、共済、葬儀など (購買配送事業) |
| | 生活クラブ生活協同組合 | 食品、雑貨、衣料、共済、電気小売事業など (購買配送事業) |
| | 生活協同組合パルシステム茨城 栃木 | 食品、雑貨、衣料、カタログ、共済、保険、電気小売事業など (購買配送事業) |
| | 栃木県学校生活協同組合 | 食品、書籍、家庭用品、衣料品、旅行、サービス事業、指定店事業、保険共済事業など |
| | 宇都宮大学消費生活協同組合 | 文具、学用品、書籍、食品、日常生活用品などの購買事業 / 食堂、旅行、共済などのサービス事業 / アパート、下宿などの斡旋事業 |
| | 足利大学生生活協同組合 | 文具、コピー、写真印刷、勉強情報機器、ソフトウェア、衣料品、家電、家具、CDソフト、オーディオ、雑貨、食品、パン米飯、飲料、書籍、共済など |
| | 栃木保健医療生活協同組合 | 医療事業、介護事業など |
| 賛助会員 | こくみん共済 COOP (全労済) | 共済事業 |
| | こらぼワーク (企業組合とちぎ労働福祉事業団) | ビルメンテナンス、廃棄物収集運搬、構内作業請負、障害者就労支援事業、福祉用具貸与販売、総務経理サポート、など |
| | 中央労働金庫栃木県本部 | 金融 |
| | 社会福祉法人ふれあいコープ | 福祉介護事業 |
| | 生活協同組合パルシステム群馬 | 食品、雑貨、衣料、カタログ、共済、保険、電気小売り事業など (購買配送事業) |

オンライン学習会のおしらせ

<お申込みは当連合会ホームページから>

- ❖ 日 時：2月7日(月)13:30-15:30
- ❖ テーマ：プラスチック問題
世界と日本の現状について
- ❖ 講 師：共同通信編集委員 井田 徹治 氏
お申し込み〆切1月31日(月)

- ❖ 日 時：3月15日(火)13:30-15:30
- ❖ 仮 題：危機を超えて人間主体の社会を再創造する
～人間の未来を取り戻すために～
- ❖ 講 師：東京大学名誉教授 神野 直彦 氏
経済学者。専門は財政学、地方財政論
2009年秋 紫綬褒章受章
前地方財政審議会会長、地方分権改革有識者会議座長等
お申し込み〆切3月7日(月)

ネットワーク活動

とちぎ消費者ネットワーク

県内高校、大学・専門学校で、とちぎ消費者カレッジを開催しています

若者への消費者問題啓発を主な目的としたとちぎ消費者カレッジを、2013年より県から受諾しています。4月に成年年齢が引き下げられ、契約可能年齢も18歳になり、消費者被害の拡大が懸念されています。このような若者への消費者問題の啓発が、今後ますます重要になることから、今年度より対象を高校にも拡大して開催することとしました。高校13校、大学・短大・専門学校14校、合わせて27校で開催し、参加者は7,000人を超える見込みです。



高校で開催したカレッジの様子

2021年度とちぎ消費者カレッジ開催校一覧（開催順）

| 高校 | 講師 | 内容 | 参加人数 |
|--------------------|--------------------------|--|--------------------|
| 宇都宮短期大学 附属高等学校 | 消費生活アドバイザー-連絡協議会 伊藤 延子 氏 | 社会への扉 ～契約について～ | 725名 |
| 県立小山城南高等学校 | 弁護士 服部 有 氏 | 社会への扉～契約とお金とカードを理解しよう～ | 27名 |
| 県立矢板高等学校 | 弁護士 小倉 崇徳 氏 | 消費者デビュー講座～消費者被害にあわないために～ | 36名 |
| 県立足利清風高等学校 | 弁護士 阿部 健一 氏 | 社会への扉 ～契約とはなんだろう？ お金と生活の安全を守るにはどうすればよいのだろうか？～ | 191名 |
| 作新学院高等学校 | 弁護士 小倉 崇徳 氏 | 消費者デビュー講座～消費者被害にあわないために～ | 対面300名 遠隔3,586名 |
| 県立那須拓陽高等学校 | 消費生活アドバイザー-連絡協議会 伊藤 延子 氏 | 社会への扉～契約について～ | 73名 |
| 県立小山北桜高等学校 | 弁護士 島蘭 佐紀 氏 | 知って防ごう！！消費者トラブル | 149名 |
| 2022年1月～3月 開催予定の高校 | | | |
| 県立日光明峰高等学校 | 文星芸術大学附属高等学校 | 國學院大學栃木高等学校 | |
| 県立真岡北陵高等学校 | 県立今市工業高等学校 | 県立宇都宮商業高等学校 | |

| 大学・短大・専門学校 | 講師 | 内容 | 参加人数 |
|----------------------------|---------------------------|---|------|
| 自治医科大学看護学部 | 弁護士 服部 有 氏 | 消費者トラブルにあったケースを知ろう | 104名 |
| 宇都宮共和大学 | とちぎ消費生活サポートネット 鷲見 恵美子 氏 | ネットトラブルと契約・20歳の契約 | 77名 |
| 宇都宮大学 | 弁護士 島蘭 佐紀 氏 | 知って防ごう!!スマホ・インターネットの消費者トラブル～今、若者がねらわれています！～ | 374名 |
| 足利大学看護学部 | 弁護士 小倉 崇徳 氏 | 消費者問題のイロハを学ぼう～就職する前に知っておいて欲しいこと～ | 76名 |
| 自治医科大学医学部 | 弁護士 阿部 健一 氏 | 知ること防ぐ！消費者トラブル | 123名 |
| 文星芸術大学 | 弁護士 島蘭 佐紀 氏 | 知って防ごう!!スマホ・インターネットの消費者トラブル～今、若者がねらわれています！～ | 78名 |
| 作新学院大学経営学部 ｽｰﾊﾟｰﾏﾙｾｯﾄ学科 | とちぎ消費者ネットワーク代表 山田 英郎 氏 | スマホで大学生が狙われています!! | 67名 |
| 作新学院大学経営学部 経営学科 | とちぎ消費者ネットワーク代表 山田 英郎 氏 | スマホで大学生が狙われています!! | 111名 |
| 足利大学工学部 | 弁護士 阿部 健一 氏 | 知ること防ぐ！消費者トラブル | 807名 |
| 國學院大學 栃木短期大学 | 弁護士 服部 有 氏 | 消費者トラブルにあったケースを知ろう | 28名 |
| 作新学院大学 | とちぎ消費者ネットワーク代表 山田 英郎 氏 | インターネット時代を拓く若者の玉手箱 (消費生活に必要な基礎知識とトラブル対策) | 15名 |
| 栃木県農業大学校 | とちぎ消費生活サポートネット理事長 白土美代子 氏 | 若者の消費者被害とその対処法 | 58名 |
| 作新学院大学 女子短期大学部 | 消費生活アドバイザー-連絡協議会 伊藤 延子 氏 | インターネットトラブルと キャッシュレス決済のトラブルについて | 113名 |
| 白鷺大学 | 弁護士 服部 有 氏 | 消費者トラブルにあったケースを知ろう | 1月開催 |

ネットワーク活動

とちぎ食の安全ネットワーク

組合員、役職員を対象に、学習会を2回開催

| 食の安全ネットワーク 学習会 | |
|--|--|
| ■第1回学習会 <7月15日 オンライン開催> 演題：ゲノム編集と食品の安全 講師：東京都市大学 環境学部教授 大塚善樹 氏 | ■第2回学習会 <9月16日 オンライン開催> 演題：市民がつくる食と農の新しい関係 ー主に北米と日本の比較の視点から 講師：宇都宮大学農学部 農業経済学科教授 西山 末真 氏 |

世話人会学習会…宇大名誉教授 宇田 靖 氏 を講師に、食の安全ネットワーク世話人会で毎回学習会を開催

| | |
|--|--|
| ADIで規制できない遺伝毒性 ～意図せず食品に含まれる遺伝毒性発がん物質の規制～ | 意図せず食品に含まれる遺伝毒性発がん物質の規制～アフラトキシン、アクリルアミド、グリシドール、ほか～ |
|--|--|

行政関連

栃木県県民生活部暮らし安全安心課との意見交換会

<10月12日、14会員、26名参加>
 暮らし安全安心課から、課長をはじめ5名の皆様にお越しいただき、生協に対する期待についてのご報告の後、参加生協からの報告と意見交換を行いました。今後も互いの理解を深めながら、協働の取り組みをすすめていくことを確認しました。

■暮らし安全安心課からみた生協に対する期待

1. 消費者団体の中核としての役割
 ・リーダースの発揮 ・県消費者基本計画第2期 ・他団体との連携
2. 行政との連携
 ・「地域」とのつながり～高齢者の見守り支援～ ・包括連携協定
3. 健全な生協運営

7月～12月 委員・メンバーとして

参加した行政の会議等

| |
|-----------------------|
| 栃木県カーボンニュートラル実現会議 |
| とちぎ食の安全安心推進会議 |
| 栃木県プラスチック資源循環推進会議 |
| 栃木県消費生活安定対策審議会 |
| 第2回栃木県食品ロス削減推進計画策定懇談会 |
| とちぎ地産地消県民運動実行委員会 |
| 宇都宮市令和3年度食品安全関係団体連絡会議 |

その他

適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動

消費者学習会を開催<11月22日開催 参加者62名>

■演題:18歳成人年齢引き下げ 何がどう変わるの？

(高校生が消費者被害に遭わないためにはどうしたらよいか、皆で考えましょう)

■講師: NPO 法人とちぎ消費者リンク理事長・弁護士 山口 益弘 氏

消費者契約トラブル110番(毎年実施)<11月24日>

4名の弁護士が交代で電話相談を行い、10名から電話相談がありました。宇都宮市の自治会を通して多くの世帯に広報(回覧)をしたことで、例年より多くの相談がありました。

11月13日SUNSUNプロジェクト(=子どもの貧困撃退円卓会議)に参加

宇都宮市委託事業「親と子の居場所」を昨年9月からモデルケースとして運営している「キッズハウスいどり」,「ふらっと☆たからぎ」の2拠点から見えてきたこと等について報告があり、居場所とは何かについて、意見交換等を行いました。

下野新聞のキャンペーンに協賛しました。

◎11月2日(火) 「虐待ゼロへのちにハグを」

◎11月14日(日) 「とちぎ特殊詐欺被害防止キャンペーン」

